

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 6 月 16 日

アンケート期間:令和 1 年 9 月 1 日 ~ 令和 1 年 9 月 30 日

事業所名 聴覚・ろう重複センター楓

保護者等数(児童数) 51

回収数 29

割合 57 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	7	1	・現場を見たのがかなり前なので、現状がわからない	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	7	0	・専門性に関してどのように判断したら良いのかわからない ・職員の数などがしっかりと把握できていない	職員紹介のお知らせを配布しています。手話のできるスタッフを配置等、聴覚障害への配慮、環境整備に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	13	5	・肢体不自由で移動手段が車いすであり、配慮が適切ではない面がある	ハード面において、バリアフリー対応が不可能な箇所があり、その都度、個別に合わせた対応をしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	27	2	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23	6	0	・年齢差のことも配慮して色々な活動内容を考えてもらえているのでありがたい ・他放デイの支援も勉強された方が良いのでは	事業所連絡会や研修に参加し、他事業所との情報交換を行います。今後も活動プログラムが固定化しないよう工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	12	5	・交流があるのかどうか把握できない	公園で地域の子どもたちとの交流はあり、他に交流できる場を増やしていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	3	0	・時々参加費等に疑問を感じることもある。詳細の記載があるとよい	今後、参加費(調理材料費、お出かけ時の入場代)等の詳細を記載いたします。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	3	1	・スタッフによって認識にバラツキがあるように感じる	職員研修の場を設け、情報の共有、対応の周知に努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	2	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	10	9		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	12	0	・そのような経験がないので、どちらとも言いえない	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	3	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	5	1	・ホームページなどあるのかもしれないが、見た事がない	会報等でお知らせするよう努めます。
14 個人情報に十分注意しているか	25	2	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	5	1	・個別に配布があると良い	定期的なマニュアル整備、周知を行います。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	6	0	・利用回数が少ないので、訓練が行われているかわからない	通常年4回、避難訓練を行っています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	26	3	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	25	3	1		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 6月 16日

事業所名 聴覚・ろう重複センター楓

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		柔軟な対応ができる職員体制	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		○		保護者にバリアフリー化がされていない箇所 を事前説明・了承を頂いている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○			
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			昨年度より公開
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		○		第三者評価を受ける予定なし
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○		キャリアに応じた研修を実施	
適切な支 援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	9	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 活動プログラムの立案をチームで行って いる	○			
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	○			
	11	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○			
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	○			
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	○		朝礼・連絡ノートにて実践	
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	○		当日の利用者さんの様子を情 報交換し、課題がある時は対 策も含めて情報共有に努めて	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	○			
関係機 関や保 護者 との 連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○			
	18	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○		日頃から関わりを持つことで 学校との信頼関係を構築し、 必要に応じて対応	
	19	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○		事例なし
	20	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	○			
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	○			
	22	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	○		公園での活動にて、時々地域 の子供たちとの交流の機会あ り	障害の特性や広域にわたる地域性を考慮 し、兄弟やお友達の企画検討
	23	市内の連絡会に定期的に参 加している	○			
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○			

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		対応に悩んでおられる保護者に対して傾聴、情報提供などの支援の実施	保護者対象の学習会開催検討	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			保護者会はないが、交流できる機会を検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			手話、口話、身振り、写真など、視覚的情報を大切に、伝わり合える環境整備に努めて	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			事例なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				ご家族の指示にもとづいて対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				